

国際関係論

専攻

◆ 2025年9月入試 専門科目（国際関係論）

国際関係論を専門的に学ぶにあたって必要な知識を問う出題である。具体的には、政治、経済、社会、文化の諸側面から国際関係めぐる現象を広く把握し、それらの現象を説明するにあたって、政治学、経済学、社会学などの理論を応用して、論理的に説明する学力を問うための出題である。

③最近の国際情勢を理解しており、その変化を体系的に考えられる能力を問うものである。

⑤国際関係論の基礎的知識の一つとして、現代の地域主義（regionalism）やそれを体現する地域的国際機構（地域機構）の形成・展開・問題点などについて受験者の関心や素養に応じて論じてもらい、当該受験生のフォーラムの理解度や思考・論述能力を試すことを意図した。採り上げられるべき地域主義や地域機構は「安全保障分野」と括っているものの、NATOのような軍事的機構に限らず、CSCE/OSCE、ASEANおよびARFのような広義の包括的な安全保障課題に係る枠組みや対話フォーラムを扱うことも可とした。

◆ 2025年2月入試 専門科目（国際関係論）

①国際関係論を専門的に学ぶにあたって必要な知識を問う出題である。具体的には、政治、経済、社会、文化の諸側面から国際関係めぐる現象を広く把握し、それらの現象を説明するにあたって、政治学、経済学、社会学などの理論を応用して、論理的に説明する学力を問うための出題である。

②グローバルレベルにおいて国家と社会の関係を考察する能力、理論的な枠組みと実証的な動きを組み合わせる能力を問う。

◆ 2026年9月入試 専門科目（国際関係論）

国際関係論を専門的に学ぶにあたって必要な知識を問う出題である。具体的には、政治、経済、社会、文化の諸側面から国際関係めぐる現象を広く把握し、それらの現象を説明するにあたって、政治学、経済学、社会学などの理論を応用して、論理的に説明する学力を問うための出題である。